

種別	工種	事例名	シート番号
メンテナンス	給排水	給湯器の排ガスによる排水鋼管の腐食	4-1

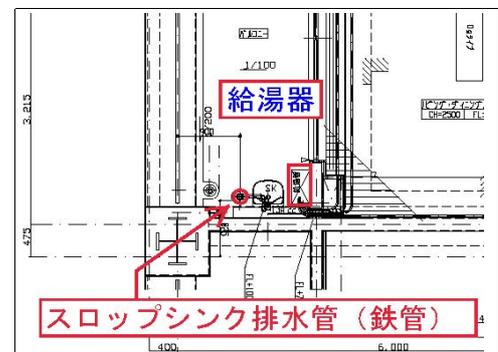
不具合事例・状況

ガス給湯器正面の排水鋼管に錆が発生していた。
配管に再塗装を行ったが、数年後に確認したところ、
排水鋼管の表面に錆が再発していた。
違うタイプの住戸では、排水管に発錆は見られなかった。



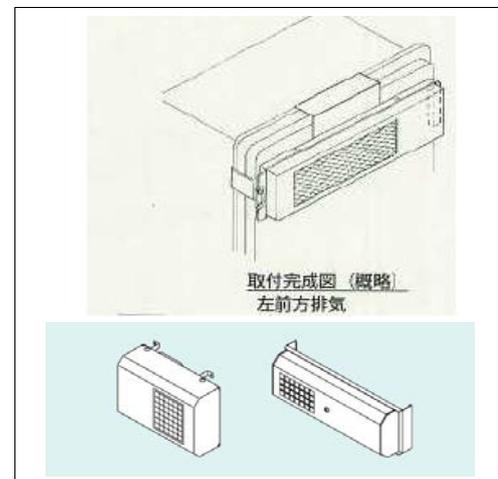
原因

給湯器の排気が800mm先のスロップシンクの排水鋼管に
当たり、結露水(弱酸性)となって錆を発生させていた。
(ガス会社の見解)



対処方法

給湯器に排気偏向アダプタを取り付け、配管に直接排気が
当たらないようにした。
排水管の再塗装を行った。
排水管の支持金物も交換した。



排気偏向アダプタ

再発防止対策

給湯器の配置の検討。排気方向変更の必要性は、ガス会社に確認する。
給湯器排気面から1000mm程度の範囲に金属がある場合は、排気方向を変更する。

備考	参考文献：	制定	2020年3月1日
	参考メーカー：	改訂	